

## 教科別の学力状況について

・鳥取県の「教育に関する大綱」において、「子どもたちの知識・技能の確実な習得等が課題」であり、全国学力・学習状況調査結果の各教科の県の平均について、全学年全教科で全国平均を上回ることを指標として掲げている。

## 1 教科別の学力状況

## (1) 国語

## ○全国学力・学習状況調査結果(全国比較)

・以前は平均正答率が全国平均を上回っていたが、平成 29 年に初めて中学校で全国平均を下回り、近年は全国平均を下回る状況が続いている。

## 【平均正答率の推移(全国比)】

年度	小学校6年			中学校3年		
	鳥取県	全国	差	鳥取県	全国	差
H19	74.20	71.85	2.35	76.95	76.80	0.15
H20	59.85	57.95	1.90	68.40	67.20	1.20
H21	61.70	60.20	1.50	77.85	75.75	2.10
H22	83.40	80.55	2.85	72.10	70.20	1.90
H24	69.70	68.60	1.10	70.60	69.20	1.40
H25	57.15	56.05	1.10	73.10	71.90	1.20
H26	66.75	64.20	2.55	65.35	65.20	0.15
H27	69.15	67.70	1.45	71.55	70.80	0.75
H28	66.60	65.35	1.25	71.90	71.05	0.85
H29	66.50	66.15	0.35	74.50	74.80	△ 0.30
H30	63	62.70	0.30	68	68.65	△ 0.65
H31	63	63.80	△ 0.80	73	72.80	0.20
R3	64	64.70	△ 0.70	63	64.60	△ 1.60
R4	64	65.60	△ 1.60	68	69.00	△ 1.00
R5	67	67.20	△ 0.20	69	69.80	△ 0.80

## 【全国平均を「0.0」とした際のポイント差の推移】



※鳥取県:国の公表数値でH29以降は整数表記(小数点以下を四捨五入)  
 全国平均:国の公表数値でH29以降は少数第1位までの表記  
 差:鳥取県と全国平均の単純比較

## (2) 算数・数学

## ○全国学力・学習状況調査結果(全国比較)

・以前は平均正答率が全国平均を上回っていたが、平成 24 年に初めて小学校で全国平均を下回り、近年は全国平均を下回る状況が継続するとともに、全国平均とのポイント差も縮まらない状況にある。

## 【平均正答率の推移(全国比)】

年度	小学校6年			中学校3年		
	鳥取県	全国	差	鳥取県	全国	差
H19	74.60	72.85	1.75	67.25	66.25	1.00
H20	62.75	61.90	0.85	57.65	56.15	1.50
H21	68.70	66.75	1.95	61.20	59.80	1.40
H22	63.95	61.75	2.20	55.30	53.95	1.35
H24	65.05	66.10	△ 1.05	56.75	55.70	1.05
H25	69.15	67.80	1.35	53.90	52.60	1.30
H26	68.35	68.15	0.20	63.55	63.60	△ 0.05
H27	59.90	60.10	△ 0.20	52.75	53.00	△ 0.25
H28	61.90	62.40	△ 0.50	53.80	53.15	0.65
H29	61.50	62.25	△ 0.75	55.50	56.35	△ 0.85
H30	56	57.50	△ 1.50	55.50	56.50	△ 1.00
H31	66	66.60	△ 0.60	60	59.80	0.20
R3	69	70.20	△ 1.20	56	57.20	△ 1.20
R4	62	63.20	△ 1.20	51	51.40	△ 0.40
R5	61	62.50	△ 1.50	50	51.00	△ 1.00

## 【全国平均を「0.0」とした際のポイント差の推移】



※鳥取県:国の公表数値でH29以降は整数表記(小数点以下を四捨五入)  
 全国平均:国の公表数値でH29以降は少数第1位までの表記  
 差:鳥取県と全国平均の単純比較

### (3) 英語

#### ○全国学力・学習状況調査結果(全国比較)

・平成 31 年(令和元年)度及び令和5年度に実施されたが、全国平均を大きく下回っている。

【平均正答率の推移(全国比)】

年度	中学校3年		
	鳥取県	全国	差
H31	54	56.00	△ 2.00
R5	42	45.60	△ 3.60

#### ○英語教育実施状況調査

※中学校は CEFR A1 レベル(英検3級)程度以上、高等学校は CEFR A2 レベル(英検準2級)程度以上を達成していると思われる生徒の割合

・平成 28 年度以降全国平均を下回る状況が継続していたが、高等学校は令和4年度から、中学校は令和5年度に全国平均を上回った。

【達成度の推移(全国比)】

【全国平均を「0.0」とした際のポイント差の推移】

年度	中学校(CEFR A1以上相当)			高等学校(CEFR A2以上相当)		
	鳥取県	全国	差	鳥取県	全国	差
H25	33.50	32.20	1.30	36.80	31.00	5.80
H26	32.00	34.60	△ 2.60	38.90	31.90	7.00
H27	40.70	36.60	4.10	35.00	34.30	0.70
H28	34.40	36.10	△ 1.70	33.90	36.40	△ 2.50
H29	35.70	40.70	△ 5.00	36.50	39.30	△ 2.80
H30	37.10	42.60	△ 5.50	33.30	40.20	△ 6.90
H31	38.80	44.00	△ 5.20	42.70	43.60	△ 0.90
R3	40.30	47.00	△ 6.70	45.80	46.10	△ 0.30
R4	34.60	49.20	△ 14.60	50.80	48.70	2.10
R5	51.00	50.00	1.00	51.00	50.60	0.40



### (4) その他

- ・難関国公立大学の合格者数 [目標] 120 人 [実績] 106 人 (前年 108 人)
- ・県内高卒者の大学等進学率 [目標] 48% [実績] 51.5% (前年 52.1%)

## 2 補足データ

○主体的な学びが低下傾向にあり、学習意欲を引き出す取組が必要。

#### ・学校の授業が分かる児童生徒の割合

中学校／数学 [目標]74% [実績]71.5% (前年 74.5%)

小学校／算数 [目標]85% [実績]77.1% (前年 79.9%)

#### ・「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の割合

中学校 [目標] 65% [実績] 56.1% (前年 58.3%)

小学校 [目標] 74% [実績] 70.5% (前年 71.3%)

#### ・「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合

中学校 [目標] 75% [実績]66.3%(前年 66.9%)

### 3 調査結果分析

現行の学習指導要領では、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」が求められ、全国学力・学習状況調査においても、知識偏重ではなく、知識をどのように活用するかについて問われる問題が多く出題される傾向にある。

#### 【国語、算数・数学】

(課題) 全国学力・学習状況調査の調査結果から、「思考・判断・表現」を問う問題の正答率が低く、知識を活用する力に課題がある。長年、基礎学力の定着を重視し、知識・技能を身に付ける丁寧な授業づくりに取り組んできたが、予測困難な時代を前に、その知識をどう活用するかを意識した授業へと転換が求められている。

(対応) 「知識を活用する力」に焦点化した事業を推進し、研究推進校の指定、文部科学省学力調査官等を招聘した教員研修、県独自に作成した研修資料、県指導主事による授業への指導助言等を通して、学力向上を図っている。また、小学4年生から中学3年生に県独自の「とっとり学力・学習状況調査」を実施し、個々の学力の伸びを把握した個に応じた指導を推進するとともに、学力を伸ばした指導の好事例を広く周知し、県全体での授業力の向上を目指している。

#### 【外国語科(英語)】

(課題) 全国学力・学習状況調査(令和5年)では、生徒質問紙において、授業改善に関する項目に肯定的に回答した生徒の割合が全国を上回ったが、全ての問題で正答率が全国を下回った。また、英語教育実施状況調査から、話すことなどの言語活動の実施が不十分であることが課題として明らかとなっている。

(対応) 全国学力・学習状況調査、英検 IBA 等の外部試験のデータを分析して課題を明確にした上で、県指導主事が県内の全ての中学校の授業を参観し、指導助言を行った。また、児童生徒が英語使用機会を確保するために、オンライン英会話レッスンの活用を推進するとともに英語イベントを実施している。

### 4 主な取組

#### 【国語、算数・数学】

##### (1) とっとり学力・学習状況調査

児童生徒一人一人の学力の伸びを測る指標となる、県独自の「とっとり学力・学習状況調査」を実施し、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析。その結果から各学校で指導の見直しを行うとともに、学力を伸ばした好事例を報告書にまとめ、周知。また、「非認知能力」や「学習方略」を把握し、教師の意識改革を促す。

##### (2) 全国学力・学習状況調査問題を活用した取組

###### ① B-PLAN(小学校国語科、算数科)

全国学力・学習状況調査の問題等を單元ごとにまとめた活用問題集を作成し、教師が調査問題をもとに教材研究し、活用力を育成する授業づくりを実施。県指導主事が学校訪問し、授業づくりを直接指導。

###### ② 小学校算数単元到達度評価問題(小学校算数科)

各単元で身に付けさせるべき力が曖昧な授業が多くみられることから、各単元末で到達度を確認するための評価問題を作成し、学習後に児童に実施。その結果から授業づくりのPDCAサイクルを確立。

###### ③ 研修パッケージ(小・中学校国語科、小学校算数科、中学校数学科)

教師が全国学力・学習状況調査の問題を解き、解くために必要な資質・能力について協議することを通して、授業改善を図ることができる研修動画とワークシートを配布し、各学校での実施を推奨。

##### (3) 思考力・判断力・表現力等を育成する取組

###### ① 子どもが伸びる授業づくりプロジェクト(小学校国語・算数科)

全国学力・学習状況調査で求めている学力について教師の理解が十分でないことから、授業づくりの拠点となる重点校を指定し、全国学力・学習状況調査の問題の意図を熟知している文部科学省学力調査官等を招聘した研修を複数回実施。授業研究会を開催し、そのノウハウを県内に周知。

###### ② 全県の小学校算数訪問の実施

算数の授業を参観する学校訪問を実施。事前に「鳥取県が目指す授業像」や「授業チェックシート」を学校に配布し、授業参観で見取る具体的な視点を示したうえで、適切な指導助言を行った。

###### ③ 研修会等の開催

###### ・学力向上研修(小学校国語科、算数科)

活用力に課題があることから、学力調査官を招聘し、全国学力・学習状況調査の問題を活用した授業づくりについて教員に直接指導。

###### ・中学校(国語科、数学科)定期考査研修会

中学校各教科において、思考力、判断力、表現力等に課題があるため、指導と評価についての理解を深め、授業及び定期考査の改善を推進する研修会を実施。

###### ・全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり研修会(小・中学校国語科、算数・数学科)

「今、求められる資質・能力」を育成する授業改善を推進するため、放課後の時間帯に、全国学力・学習状況調査の出題傾向や授業改善の方向性について解説する研修会をオンラインで実施。

- ・小学校国語科の授業づくり研修会(オンライン)(小学校国語科)  
小学校国語科で求められる資質・能力を育成するための授業改善を図るため、実践力の向上を図るためのオンライン研修会を放課後の時間帯に4回シリーズで実施。
- ・体験型研修会(小・中学校国語科)  
学習指導要領において示される資質・能力を育成するための授業づくりについて体験的に理解を深め、国語科における指導力向上を図るため、県指導主事による模擬授業を通じた授業づくり研修を実施。
- ④各種動画作成・周知
- ・「今、求められる学力」育成に係る授業づくり研修動画(小・中学校国語科、算数・数学科)  
「今、求められる学力」育成する授業づくりを推進するため、鳥取県エキスパート教員の授業実践とともに、授業づくりのポイントを具体的に示し、解説した研修動画を作成、配信。

## 【外国語科(英語)】

### (1)外部試験(英検 IBA)

県内全公立中学生と小学6年生(希望する学校)に外部試験(中1・中2:2技能型英検IBA 中3:4技能型英検IBA 小:英検ESG)を実施

### (2)言語活動の充実を目指した取組

#### ①中学校英語訪問

県教育委員会外国語担当指導主事等が、県内全ての中学校・義務教育学校(後期課程)を訪問し、授業参観及び指導助言を行い、指導改善を支援

### (3)英語を話す力の育成を目指した取組

#### ①小学生のための1DAYイングリッシュ(小学生対象)

小学生が、ネイティブスピーカーと英語を使いながら様々な活動を通して英語に親しむイベントを開催

#### ②Tottori English Challenge Program 2024(中学生対象)

中・高校生のスピーキング力向上のため、夏季休業中に3日間にわたる目的別のスピーキング講座を開催

#### ③オンラインスピーキング事業への補助(小中学生対象)

オンライン英会話レッスンまたはAI型アプリを導入する市町村に、受講料を支援

#### ④研修会等の開催

- ・小学校英語専科教員等指導力向上研修会
- ・中学校(英語)定期考査研修会
- ・中学校教員のための「とっとり英語学び塾」

#### ・Global Teacher Prize 2023ファイナリストに学ぶ中学校外国語の授業づくり研修会

中学校英語担当教員等が、優れた授業実践参観及び事後研修・協議を行うことを通して、指導の在り方と中学、高校の学びの連続性を意識した授業づくりについて理解を深めることを目的に実施。

#### ・鳥取県英語教育推進フォーラム

外部有識者による講演や県内教員による実践発表を実施。小・中・高等学校の学びのつながりを重視した英語教育の推進や教員の指導力の向上を図る。

#### ⑤各種動画作成・周知

##### ・小・中学校の学びの連続性を意識した中学校入門期の指導のポイントについての動画

小学校での学びを踏まえた中学校1年生での指導のポイントを「小学校での学び」「文字指導」「中学校の教科書の活用」の3つに整理して説明

##### ・ALTとともに作る英語の授業づくり[小学校版]、[中学校版]

ALTと効果的なティーム・ティーチングを行うためのポイントや、授業外でALTと児童生徒が関わ合う場面を充実させるための工夫について、鳥取県内の学校の事例とともに紹介

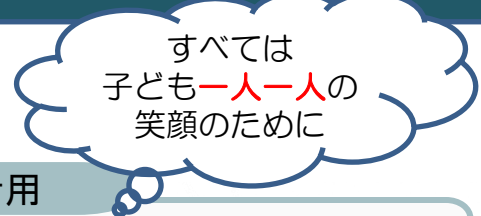
##### ・小中学校の学びの連続性を意識した指導の充実についての動画

## 5 今後に向けて

これまでの取組をふまえ、より一層学力向上を推進していくため、鳥取県学力向上推進プラン(第2期・令和6年度から令和9年度)を策定した。このプランでは、鳥取県の課題である児童生徒の思考力、判断力、表現力等の育成を目指し、目標を「自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成」としている。すでに取り組んでいる全国学力・学習状況調査やとっとり学力・学習状況調査、英検IBA等から得られる教育データを最大限活用し、学力向上検討会議で専門家等による分析を行い、その分析をもとに客観的な根拠を重視した学力向上事業を推進していくこととしている。

【目標】 自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成

教育データを生かして、一人一人を丁寧に見取り、確実に伸ばす鳥取県ならではの教育の推進



「一人一人の伸び」を把握し  
確実に力をつける

市町村(学校組合)教育委員会との密な連携

全国学力・  
学習状況調査

今求められる資質・能力  
思考力・判断力・表現力

教育  
データ

評価

とっとり学力・  
学習状況調査

学力の伸び  
非認知能力等の測定

英検IBA  
英検ESG

CSEスコアの伸び

研究

活用

教育データの活用

- 大学等研究機関等との共同研究
  - ・教育データを大学と共同で分析・研究
  - ・子どもを伸ばす教師の取組、学校の活動を分析
- 市町村教育委員会のEBPMの取組を重点支援
  - ・データを根拠とした教育施策の立案に向け支援

知見

学力向上  
検討会議

提言

授業改善

～児童生徒が、自分の考えを持ち、工夫して表現するために～

指導力向上

○「鳥取県教育の重点」作成

- 子どもが伸びる授業づくりプロジェクト(国・算)
- エキスパート教員による指導技術の普及
- 中学校定期考査改善研修会
- 小学校教科別指導力向上研修
- 教育研究団体と連携した授業づくり研修会
- 学力向上推進校へのスーパーバイザー派遣
- 英語教育推進事業
  - ※小学校高学年における教科担任制の推進
  - ※保幼小の連携強化
  - ※30人学級導入による個に応じた指導の一層の充実

若手育成

- 若手教員先進地派遣
  - ・連続5日間、著名な教諭からの指導による専門性と意識の向上
- とっとりメンター方式

学校マネジメント力向上

- 管理職研修の充実
  - ・学校マネジメント研修 等
- 学校経営支援
  - ・指導主事、管理主事等による学校訪問

教育DXの推進

○1人1台端末の効果的活用

- ・クラウドやeラーニング教材等を活用した個別最適、協働的学びの実践
- ・家庭学習との連携

○鳥取県教育プラットフォームの活用

- ・児童生徒一人一人の学習ログ、生活ログの活用

○デジタル教科書の活用

- ・デジタルならではの良さを生かした活用

